

松山南高等学校 令和2年度第1学期「データサイエンスⅠ」生徒の取組評価用ルーブリック

○1学期の各活動について、2～4いずれかの評価をしてください。3の記載内容を標準的なレベルとします。特に達成度の高い、または低い項目は、それぞれ5、1と評価してもよい。

	評価 観点	(5～)4	3	2(～)1	取組評価
		標準的なレベル(3)を越えて達成できた	標準的なレベル(3)をおおむね達成できた	標準的なレベル(3)を達成したとはいえない	
第2講	愛媛の事例から	問題提起	地域のニュースを興味・関心に基づいて取り上げ、具体的に問題を捉えられている。	地域のニュースについて、問題意識を持って取り上げられている。	地域のニュースを取り上げたが、問題を捉えられていない。
		仮説	資料を踏まえた仮説が述べられており、その意義がよく分かる。	仮説が述べられている。	仮説が述べられていない。(ニュースの内容から発展がない。)
第3講	南高の評価指標	指標①	指標に用いた言葉の定義が明確で、具体的であるので、仮説の検証に説得力を与えている。	指標に用いた言葉の定義が明確で、具体的である。	指標に用いた言葉がいくつかの解釈ができるもので、明確ではない。
		指標②	利用しているデータが、仮説の検証に適切であり、結論に一致している。	利用しているデータが、仮説の検証のために適切である。	利用しているデータが、仮説を検証するには不十分、または食い違っている。
第4講	RESAS利用	RESAS		RESASを利用してグラフを確認できた。	グラフを確認できなかった。
		保存		作成したファイルを指示に従って保存できた。	ファイルの保存方法に指示とは異なる点があった。
第5講	プレゼン作成	比較	データの比較から差異を見だし、客観的な評価・判断につながられている。	データを比較することによって、差異を見だしている。	データを比較するという視点が見られない。
		結論	客観的な判断を導き、効果的な解決策の提示がなされている。	具体的なアクションや判断につながる情報がまとめられている。	情報が客観的な判断につながっていない。
取組状況		意欲的に活動し、成果物は期限内にすべて提出されている。	成果物がすべて方法を守って提出されている。	成果物が条件を満たしていなかったり、大幅に提出期限を過ぎたりした。	
総合評価		活動の目標を理解して実行し、オリジナリティのある結論を導き出している。	活動で使われた手法を理解し、学んだことを実行できている。	理論や手法を十分には理解できず、基本的な方法を模倣するに終始している。	
コメント					計